

令和8年度 学校経営方針

青森県立森田養護学校

校長 鈴木 朋 絵

1 校訓

健康 友情 努力

2 学校教育目標

児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた適切な教育を行い、将来の自立と社会参加を目指して、その基盤となる「生きる力」を育成する。

【目指す児童生徒像】

- (1) 丈夫で元気な子ども
- (2) 仲よく協力する子ども
- (3) 自分から進んで取り組み、やり遂げる子ども

3 スローガン

「太陽に向かってひまわりのように」

4 学校課題

- (1) 「考える・分かる・活用できる」の要素がある授業づくりの実践
- (2) 夢や志の実現に向けた各学部段階におけるキャリア教育の推進
- (3) 各障がい種の指導の専門性の向上
- (4) 地域とともにある学校づくりの推進
- (5) 地域社会における本校児童生徒に対する理解促進

5 学校経営方針

- (1) 適切な実態把握と評価に基づいた授業づくりを進める。
- (2) 児童生徒一人一人の可能性を引き出し、自己肯定感・自己効力感を高める教育活動を展開する。
- (3) 学習指導要領を基に、小学部から高等部までの12年間を見通した一貫性のある系統的な授業を行う。
- (4) すべての教育活動についての説明責任を果たす。
- (5) 計画的な研修や校内研究により、各障がい種や個々のニーズに応じた指導の専門性の向上を図る。
- (6) 地域と連携し、人との関わりを活かした教育活動を展開する。
- (7) 西北地区におけるインクルーシブ教育システム（※）の充実を図る。
※障がいのある者と障がいのない者が可能な限り共に学ぶ仕組み（文部科学省、インクルーシブ教育システム構築事業 資料より）
- (8) 職員の健康を維持し、安心して働くことができる環境を整える。

6 重点課題

(1) 授業づくり

- ① チームで行う授業改善
- ② 学習指導要領を基に、学部会や学部主任会議等による小学部から高等部までの一貫性のある系統的な指導内容の整理と授業実践
- ③ 児童生徒一人一人の実態に応じたICTを効果的に活用した授業実践の推進
- ④ 地域資源や人財を活用・連携・協働した学習活動の充実
- ⑤ 授業研究会や積極的な授業参観による授業力の向上

(2) キャリア教育

- ① 児童生徒のもっている夢や志の把握とその実現に向けて必要な力の明確化
- ② 小学部、中学部、高等部が連携した各学部段階におけるキャリア教育の充実
- ③ 個別の教育支援計画、個別の指導計画、個別の移行支援計画を活用した保護者・関係機関との情報共有
- ④ 進路実現につながる外部の人材・施設等の活用及び保護者との連携

(3) 特別支援教育の専門性

- ① 学校課題及び校内研究に即した校内研修の充実
- ② 各障がい種や個々のニーズに関する指導の専門性向上を目指した校内外の研修と校内支援体制の充実

(4) 地域とともにある学校づくり

- ① 学校評価の分析・活用による学校改善と地域への情報開示
- ② 保護者や福祉、医療、労働等の関係諸機関との密接な連携強化
- ③ 学校運営協議会を活用した地域との積極的な連携・協働の推進と教育課程の編成
- ④ 関係機関会議・地域活動等への積極的な参加
- ⑤ ホームページなどを活用した本校の教育活動に関する積極的な情報発信

(5) インクルーシブ教育システム

- ① 交流及び共同学習の推進による小・中・高等学校との相互理解
- ② 児童生徒一人一人への合理的配慮の提供と基礎的環境整備の推進
- ③ 地域における特別支援教育のセンター的役割を意識した地域への積極的な支援と情報発信（西北地区連携協議会事務局校、相談支援サポートセンター「ねっと！ひまわり」等）